

株式会社 J R 東日本ステーションサービス

代表取締役社長 森山 英彦 殿

J R 東日本輸送サービス労働組合

中央執行委員長 佐々木 宏充

地域に愛される駅を実現するために「働きがい」「生きがい」 「やりがい」を持てる労働環境の実現を求める申し入れ

輸送サービス労組は、申第 7 号「鉄道係員に対する暴力行為根絶に向けた申し入れ」および申第 12 号「2 0 2 3 年度年末手当に関する申し入れ」において、「働きがいのある人間らしい仕事」「生きがいをもって安心して働ける環境づくり」「仕事と家庭生活の調和が取れた働き方の実現」について労使議論を行い労働条件および労働環境の向上に努めていくことを確認しました。

しかし、職場実態は、相次ぐ駅業務体制の変更や要員削減により一人勤務体制も多く発生するなど労働密度が高められるばかりで社員の働きがいは創出されずモチベーションは低下し続けています。特に、水戸支店内原駅では、赤塚駅勤務者の一部社員による主勤務地外勤務の指定が集中し月の 8 割が内原駅勤務となっています。また、定期券発行区間外の交通費の一時的自己負担が生活を圧迫しているとの悲痛の声が訴えられています。さらに、八王子支店武蔵引田駅においては、事務所内でネズミなどの害獣・害虫が発生するなど不衛生な環境が未だ改善されず安心して働ける環境ではないと怒りの声があがっています。

労働安全衛生法第 7 章の 2 「快適な職場環境の形成のための措置」の 1 項では「作業環境を快適な状態に維持管理するための措置」3 項では「作業に従事することによる労働者の疲労を回復するための施設又は設備の設置又は整備」が謳われていることから直ちに改善を図らなければなりません。

そして、社員が「働きがい」「生きがい」「やりがい」をもって業務に専念できる職場環境をつくりあげていくことこそが「お客さまの立場にたったサービスを提供する駅づくり」「安全で安心してご利用いただける駅づくり」「地域の皆さまに愛される駅づくり」の 3 つの駅づくりに寄与し「J E S S ビジョン 2023-MOVE-」の実現に直結するものと考えます。J R 東日本ステーションサービスで働く組合員・社員の「働きがい」「生きがい」「やりがい」を持てる労働環境を、労使ともに協力し創造することが今求められています。

したがって、下記の通り申し入れを行いますので、労使間の取扱いに関する協約に準じ、団体交渉は信義誠実対等の原則に従い、秩序を保ち平和裡に行うことに踏まえて丁寧かつ具体的に回答すること及び速やかな労使交渉の開催を要請します。

記

1. 水戸支店内原駅の業務執行体制にあたっては、赤塚駅の一部社員による主勤務地外勤務の指定を偏らせずに実施すること。
2. 水戸支店内原駅における空調装置が不良となっていることから速やかに改修を行うこと。
3. 八王子支店武蔵引田駅においては、事務室内にネズミ等が出没することから害獣・害虫駆除を速やかに行うこと。
4. 業務用タブレットにおいては、老朽化が著しいことから取り換えを早急に行うこと。
5. 今申し入れの回答及び団体交渉については、2024年3月31日までに実施すること。

以 上